
一美沙緒の眩き一

美沙緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ー美沙緒の眩きー

【Nコード】

N9881K

【作者名】

美沙緒

【あらすじ】

日々の中で感じたことを書いていけたらと思います。

ロミオとジュリエット

「おお　ロミオ　ロミオ　あなたはどうしてロミオなの？」

「ああ、ジュリエット、どうしてまだそんなに美しいのか？」

シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の有名な台詞。

そんな光景を私は昨日目の当たりにした。

そう舞台は平成。場所は日本。バルコニーではなく出窓というのが少し規模が小さいような気がするが、本人達は至って真剣そのもの。そんな風を感じずには居られない気がした。

ジュリエットは切ない声をあげる。なんて淫靡なのだろうと思ってしまう。

反してロミオは雄叫びのような声でジュリエットの声に何度も応える。

何時間も続くその執念深さに少し羨ましいような迷惑なような気分になるのは私だけではないだろう。

私が見たロミオとジュリエットのシェイクスピアと大きく違うところは、

ロミオが室内に居てジュリエットが外に居たということだろうか。

ロミオは二週間ほど前から初めての発情期を迎えたうちの飼い猫。〈♂〉

ジュリエットは暗すぎて正体不明の野良猫。〈♀〉

猫の発情期は長くても約二週間ぐらいとネットで書いてあり、少し治まりつつあったのに

突如2〜3日前から家の外から、人間の赤ちゃんが泣くような、なんとも甘ったるい泣き声がしてきた。

どうやら、うちの家の周りをメス猫（ジュリエット）が徘徊しているようなのだ。

治まりつつあったうちのオス猫^{ロミオ}も、最後の力を振り絞るように求愛モード全開で

「にゃおおおおおん」

「うわああおとおおおんっ」

刹那過ぎるほどの声をあげて病まない。ロミオとジュリエット。

ウロウロと落ち着きもなく心此処にあらすといった感が拭えないロミオの動きに

最初は笑って見ていた私も、深夜から朝方までに及ぶ逢瀬に些か睡眠妨害だと

腹を立ててしまった。自問自答してこれは一種のやつかみなのだろうか。

という気もしないではない。

『お願いだからもう少し静かにしてよね？近所迷惑!!』
って思ってしまった夜なのでした。

――――

はじめまして。美沙緒です。

エッセイ初投稿です。

長文苦手なんで短い呟きのようなものを書いていききたいと思っています。
ります。

ロミオとジュリエット2

メス猫ジュリエットの声が聴こえて三階の窓から下を探すと、確認できるところに居た。

ジュリエットは虎猫みたいだ。昼間から逢いに来たんだジュリエット。

そんなにうちのロミオのことが好きなのだろうか。

猫は生涯何度ぐらい恋をするのだろうか？

発情期は4ヶ月に一度ぐらいらしいけれど、毎回うちに来てくれるのだろうか？

それとも次は違う相手を求めるのだろうか。

そんなことを考えている私は少し変わっているのかもしれない。子供の頃犬を飼っていた。シェパードの雑種で♂名前はポチ。

名づけ親は私だ。飼い主の欲目もあるが、なかなかのハンサムでポチは近くに住んでいるメス犬にかなりモテルようだった。

犬を飼った人はわかんと思うのだけれど、犬にも好き嫌いがあって、

気に入った相手には鎖でつながれていても前足でおいでおいでするように

呼びながら『クーン』と鳴いたり尻尾を振って追い掛け回したりする。

ポチは散歩に行くと道々でメス犬にご挨拶するのだけれどかなりクールなご挨拶。そのくせ家の前まで行くというのを繰り返していた

イヤらしいヤツだった。

発情期になるとすごい声を出すので今じゃ考えられないことだろうけど

近所迷惑だからと言って我が家は鎖をはずしていたことがあった。

〈汗〉

すると三日ほど帰ってこない。近所を走り回っているので時々見かけるのだけど。

十頭ぐらいが群れになって走っていたのを覚えている。

いつもうちの犬は一番後ろ。喧嘩弱いからなあゝなんて思いながら見ていた。

そんなポチだから発情期は走るだけと思いきや、それがそうでもない。

ポチはいつも散歩に行っているコースの中にいるメス犬のところにどうやらお邪魔していたようだ。なぜばれたか。それは何ヶ月後にポチに

そっくりなシェパード風の赤ちゃんが生まれてきていて、メス犬の飼い主さんに

お叱りを受け子犬を引き取ってくれと問題が発生されたからだ。

母が必死で貰いてを探していたのを微かに覚えていたりする。

そんなクールでズルイところのあるポチが一度だけ、メス犬を連れてきた。

白いマルチーズだった。室内犬が何故にここにいるのか？

私は子供ながらに不思議だった。それでもそれ以上に、ポチがいつもメス犬の前で見せている

クールな姿とは違う自分の餌を先に与えたり、少し歩いては止まって後ろを

振り返り追いかけて来るのを待っている姿をみて、『あっポチは恋

をしてるんだ』

なんて思いながら見つめていた。その後マルチーズの家を送っていったのだろうか。

ポチのジュリエットは一度も来なかった・・・。

11年私のそばに居たポチが見せた、たった一回きりの姿だけだ。

私はポチにとってのジュリエットはあのマルチーズだと信じている・・・。

オス猫ロミオのジュリエットはどんな猫なんだろう。

少しでも楽しみにしておこうと思う。。

でも腹立ち紛れに私のことを噛むのはやめて欲しいと切実に思ったりする。

わたしがあなたをプロデュースするなら

もし、わたしがあなたをプロデュースするなら。
まず、あなたに尋ねるでしょう。

「物書きとして飯が食いたいのか？」と。

『YES!』という返事を貰ったとしましょう。

ならば、今のやり方をかえたほうがいいと思うと
云うでしょう。

いろんな人間になりました作家活動を
まず一本に絞ることをおすすめます。

なりすまさないと自分の表現が出来ないなんて
作家として哀しいことだと思うからです。

そして、その名前が世に出て、本名が知れることになったとしても
恥かしくないものを残すようにしたほうがいいと思います。

それこそ、今まで書き上げたあなたの作品を、ひとつの場所で
いろんな名前で書き上げた作品ですと管理するぐらいの
勇気を持ってください。

コミュニティを立ち上げるにしても同じです。
それを形にしておかないと、あとで今あなたがしていることが
足を引っ張ることになると思います。

私が昔あなたに途中まで言いかけた言葉でもあります。
あなたにはわかっていただけなかったみたいですが。

自分が望んだ世界なら目先の欲に踊らされては
ダメだと思っんです。

本当のあなたで勝負すべきだと思います。

もしあなたがこのやり方でやってみようと思うのなら
わたしはいつだって喜んでお手伝いしたいと思います。

あなたがたくさんの人に幸せをあげるのは
誰にでも良い顔をして自分を殺すことではありません。

それは作品に込めればいいことです。

あなたが幸せである事とあなたが愛した人を
幸せにすることが大事です。

優先順位を間違えないで生きてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9881k/>

ー美沙緒の呟きー

2011年10月6日21時38分発行